

J-クレジット制度管理者御中

実績確認概要書

平成 29 年 12 月 13 日

審査機関名 一般財団法人 日本品質保証機構

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	木質バイオマスボイラの新設プロジェクト
承認番号	JCDM-PJKC1158
排出削減事業者名	大林産業株式会社
排出削減共同実施事業者名	株式会社 F T カーボン
事業実施場所	佐山事業所製材工場 (山口県山口市佐山 3-47 (山口テクノパーク内))
事業の概要	木質バイオマスボイラ 1 基を新設し、木質バイオマスを使用することによって、CO ₂ 排出量を削減する。木質バイオマスはカーボンニュートラルが適用され、CO ₂ を実質的に排出しないものとみなされるため、バイオマスボイラを導入しなかった場合に想定される灯油ボイラに比べて、CO ₂ 排出量を大幅に削減する。
排出削減量の計画	2011 年度： 122t CO ₂ /年 2012～2018 年度： 1,466t CO ₂ /年 2019 年度： 1,369t CO ₂ /年 (事業実施期間合計 11,753tCO ₂)
クレジット認証期間	開始日 2012 年 3 月 8 日 終了予定日 2020 年 3 月 7 日 ※J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は 2020 年 3 月 7 日となっている。
排出削減方法論	方法論番号 001-A ボイラーの新設

2. 本実績確認の対象期間

2015年10月1日～2017年3月31日（第4回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績確認期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	2,033tCO ₂ （2015年10月1日～2017年3月31日）
-------	-----------------------------------------------

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	審査手続き
排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること。	1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 今回は初回の実績確認ではないことから該当しない。 2) 対象期間中の設備稼働の確認 ボイラー日報、事業者へのヒアリング等により、導入設備は実績報告期間において継続的に稼働していたことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	1) モニタリング方法の確認 ボイラー日報、排出削減事業関係者へのヒアリング等により、モニタリング方法が方法論及び当該削減計画に沿って実施されていたことを確認した。 2) 活動量の正確性 ボイラー日報、排出削減事業関係者へのヒアリング等により、活動量となる給水量、蒸気圧管理値、給水温度の記録・保存は適切になされており、活動量が正確に集計されていることを確認した。 3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 事業者へのヒアリング並びにJ-クレジット制度のモニタリング・算定規程（排出削減プロジェクト用）Ver.2.8により、排出削減量の算定式及び使用されている排出係数等は方法論及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。

	4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 排出削減量の算定結果をボイラー日報の記録との突合、計算過程の確認、再計算等実施した結果、排出削減量の算定結果に大きな誤りはないことを確認した。
算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないこと	今回の実績確認対象期間は2015年10月1日から2017年3月31日までとなっているが、J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は2020年3月7日となっているため、当該算定結果は適切であることを確認した。

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

本実績確認期間の実績確認の結果、承認排出削減事業計画からの重要な変更点がないことを確認した。

6. 特記事項

本実績確認期間における再生可能エネルギー利用量は、原油換算 931.9kL、熱量換算 36,120GJであることを確認した。

以 上